

2010年度 第2四半期 決算説明会

(2010年4月～9月)

富士フイルム ホールディングス株式会社
2010年10月29日

注意 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

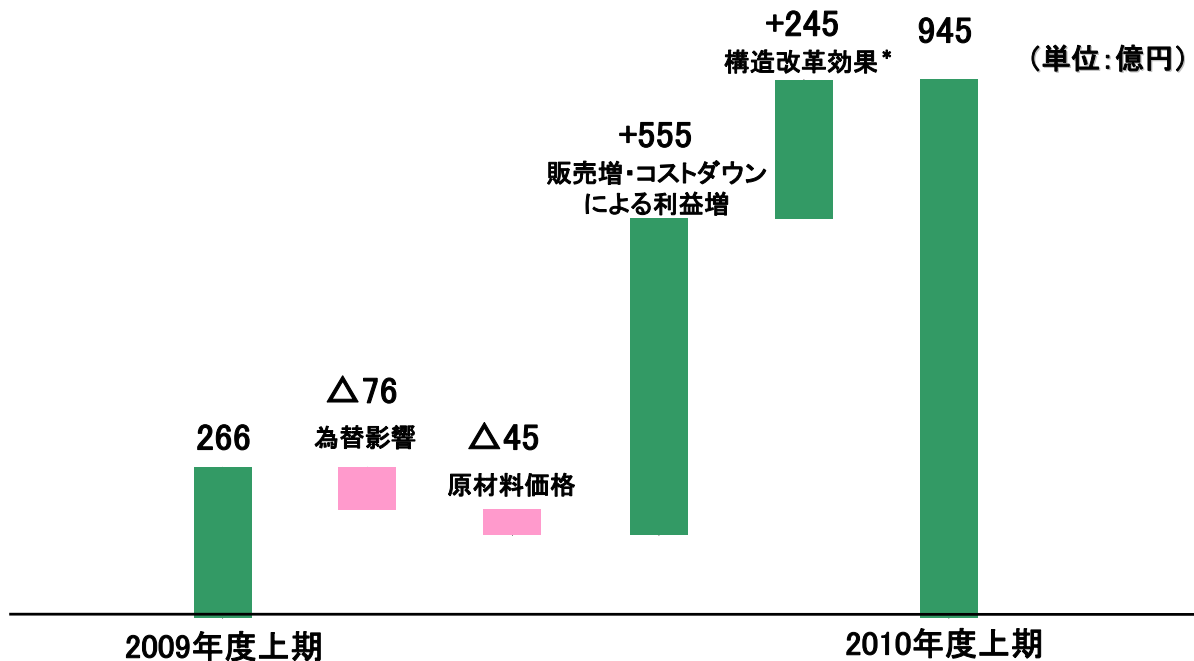
2010年度上期 連結業績

新製品の投入、新興国向け拡販施策、徹底したコスト削減により損益は大幅改善
リーマンショック前(2008年度上期)を上回る**営業利益率8.6%**を達成

(単位:億円)	2008年度 上期		2009年度 上期		2010年度 上期		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	13,384	100.0%	10,435	100.0%	11,053	+618	5.9
構造改革費用前 営業利益	6.4%	853	2.5%	266	8.6%	945	+679	255.4
構造改革費用	0.3%	41	3.3%	352	0.8%	86	-266	-
構造改革費用後 営業利益	6.1%	812	-0.8%	-86	7.8%	859	+945	-
税金等調整前 四半期純利益	6.1%	817	-0.8%	-80	7.0%	770	+850	-
当社株主帰属 四半期純利益	3.4%	453	-0.5%	-54	3.6%	403	+457	-
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益		89.97円		-11.07円		82.48円		+93.55円
為替 : 米ドル		106円		96円		89円		-7円
: ユーロ		163円		133円		114円		-19円

為替影響を
除くと
前年比
8.6%増

■ 構造改革費用前営業利益増減要因 (対2009年度上期)



* 構造改革効果は、構造改革費用に対応する効果を記載しています

構造改革の進捗

構造改革は計画通りに進捗し、着実に効果を創出

【費用】

単位: 億円

	10年度上期
イメージング	17
インフォメーション	9
ドキュメント	60
構造改革費用 計	86

	09年度(実)	10年度(計)
	541	100
	643	20
	253	130
	1,437	250

【効果*】

09年度上期	10年度上期
145	390

09年度(実)	10年度(計)	11年度(計)
380	830	900

対前年改善額

245

450

70

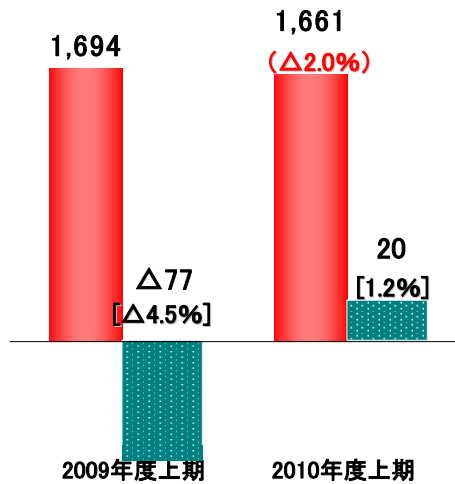
* 構造改革効果は、構造改革費用に対応する効果を記載しています

■ イメージング ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益(構造改革費用前)

単位:億円
[]:営業利益率
():前年比



売上高

1,661億円(前年比 2.0%減)
(為替影響を除く 前年比:4.4%増)

- 為替の円高影響があったものの、デジタルカメラの販売が好調に推移したこと等により前年比微減に留める。
- 為替円高影響 △108億円

営業利益

構造改革費用前 20億円(黒字化)
構造改革費用後 3億円(黒字化)

- コストダウンや構造改革の効果等により損益が大幅に改善し、黒字化。

*セグメント間取引消去後

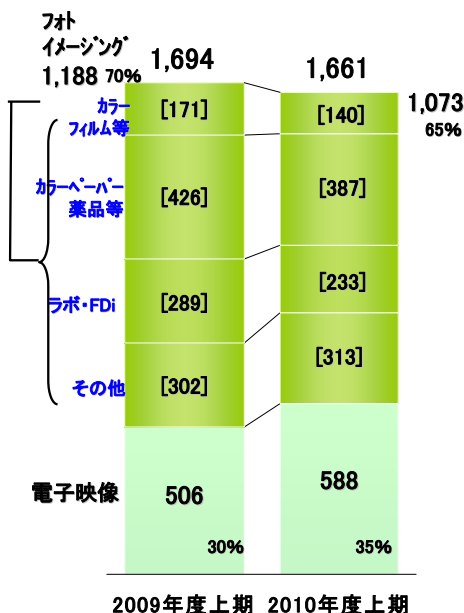
コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

事業別セグメント情報

イメージングソリューション

サブセグメント売上高

単位:億円
%:売上構成比



フォトイメージング

1,073億円 (前年比: 10%減)

- カラーペーパーは、円高影響により売上は減少したが、シェア拡大や「フォトブック」等付加価値プリントの販売が好調に推移し、販売数量が増加。

電子映像

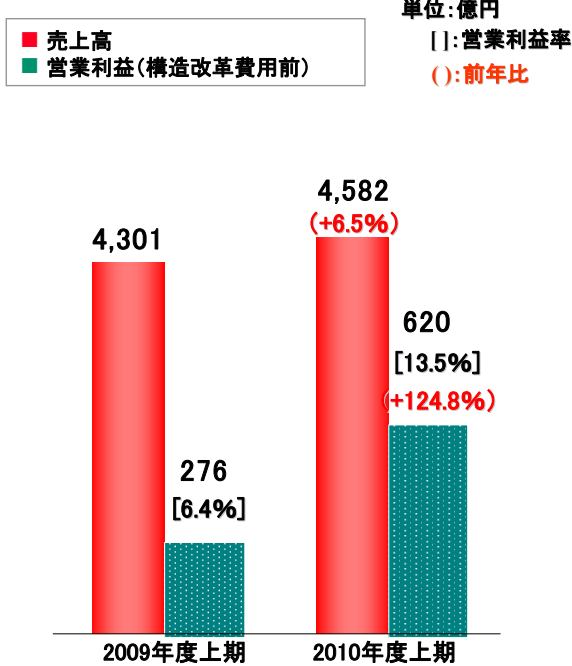
588億円 (前年比: 16%増)

- 上期の販売台数は、約550万台(前年比約40%増)。
- BRICsを中心とする新興国での販売台数が大幅に伸張。また日・米・欧の先進国でも販売が好調。
- 「FinePix F300EXR」や3Dデジカメ「FinePix REAL 3D W3」等特徴ある新製品が好評。
- 光学式30倍のマニュアルズームを世界で初めて搭載した「FinePix HS10」がヨーロッパを代表する権威ある「EISAアワード」を受賞。

2009年度上期 2010年度上期

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益



売上高

4,582億円(前年比 6.5%増)
(為替影響を除く前年比:10.5%増)

- 為替の円高影響があったものの、フラットパネルディスプレイ材料事業やメディカルシステム・ライフサイエンス事業をはじめとした主要事業の売上が拡大。
- 為替円高影響 △169億円

営業利益

構造改革費用前 620億円(前年比 2.2倍)
構造改革費用後 611億円(前年比 5.5%)

- 為替の円高影響を受けたものの、売上の増加、コストダウン施策の推進や構造改革の効果等により増益。構造改革前営業利益率も大幅に改善。

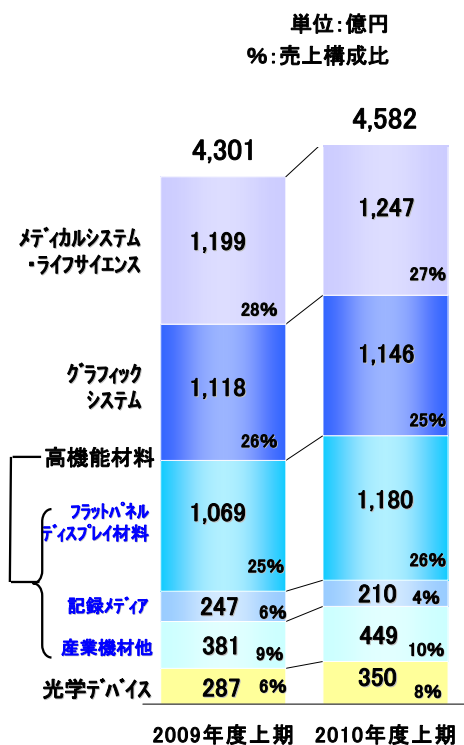
*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリセット

事業別セグメント情報

インフォメーションソリューション

サブセグメント売上高



メディカルシステム・ライフサイエンス

1,247億円(前年比:4%増)

- 先進国におけるフィルム需要が減少傾向の中、国内の市場回復、中国など新興国での販売拡大や医薬品・ヘルスケアの増収により売上は4%増加。
- 低価格・小型FORの販売が好調に推移。「CALNEO」シリーズ「カセットサイズ」のCALNEO Cを発売する等ラインアップを拡充。
- 「SYNAPSE」等の医用画像情報ネットワークシステムの売上を拡大。
- 医薬品は、ゾシン等の販売が好調に推移。

グラフィックシステム

1,146億円(前年比:3%増)

- 世界的に需要が回復してきている中、積極的な拡販により、売上が増加。
- ワイドフォーマットUVインクジェットシステム「Acuity」や「Onset」の販売が好調。

フラットパネルディスプレイ材料

1,180億円(前年比:10%増)

- 中国や日本の内需振興政策等が寄与し、「フジタック」「WVフィルム」の販売は好調。

産業機材他

449億円(前年比:18%増)

- 大手半導体向けレジスト、洗浄液、CMPスラリー等の伸長により、好調を維持。

光学デバイス

350億円(前年比:22%増)

- カメラ付き携帯電話用レンズユニットやテレビカメラ用レンズ等の需要が回復してきたことにより、売上が増加。

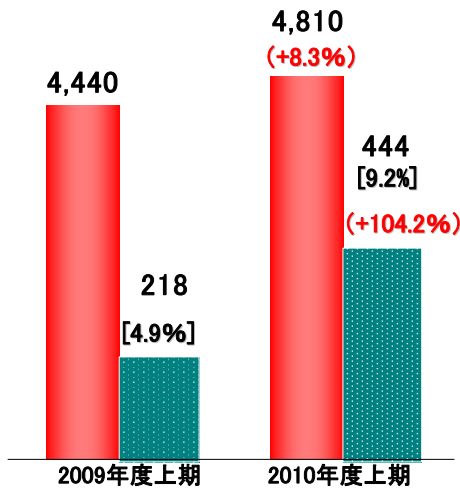
*「ゾシン」:肺炎、敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に用いる注射剤

■ ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益

■ 売上高
■ 営業利益(構造改革費用前)

単位:億円
[]:営業利益率
():前年比



売上高

4,810億円(前年比 8.3%増)
(為替影響を除く 前年比:8.4%増)

- アジア・オセアニア地域での販売や米国ゼロックス向け輸出が大幅に増加。
- 為替円高影響 △5億円

営業利益

構造改革費用前 444億円(前年比 2.0倍)
構造改革費用後 384億円(前年比 3.1倍)

- 売上高増加やコストダウン施策の推進、構造改革の効果等により大幅増益。

*セグメント間取引消去後

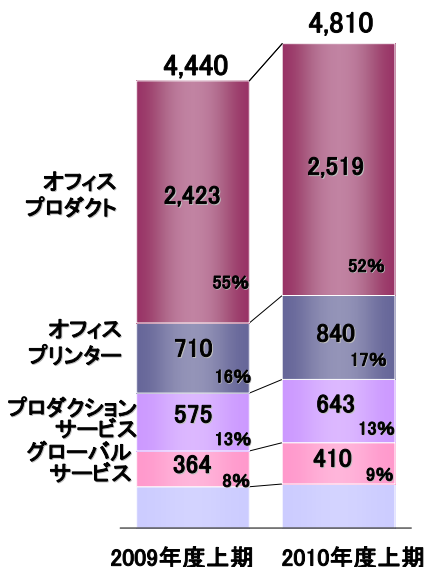
コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

事業別セグメント情報

ドキュメントソリューション

サブセグメント売上高

単位:億円
%:売上構成比



オフィスプロダクト

2,519億円 (前年比: 4%増)

- 国内はカラー機、モノクロ機を合わせた販売台数全体が増加。コピー枚数も増加傾向。
- アジア・オセアニア地域は、カラー機の販売台数が増加。米国ゼロックス向けは、カラー機、モノクロ機ともに出荷台数が大幅に増加。

オフィスプリンター

840億円 (前年比: 18%増)

- 全地域において販売台数が大幅に増加。特に、アジア・オセアニア地域や米国ゼロックス向け輸出がともに極めて好調に推移。

プロダクションサービス

643億円 (前年比: 12%増)

- 国内は企業の投資抑制の影響を受けたものの、ライトプロダクションカラー機の販売増により、販売台数は前年と同水準。
- エントリープロダクション・カラーシステムの販売が好調により、アジア・オセアニア地域の販売台数、米国ゼロックス向け出荷台数ともに増加。

グローバルサービス

410億円 (前年比: 13%増)

- 国内、アジア・オセアニア地域ともに売上が増加。8月に豪州でマネージド・プリント・サービス(MPS)プロバイダーを買収、事業の拡大を図る。

(単位: 億円)	セグメント	2009年度 (実績)	2010年度 上期	対予想 遂行率(%)	2010年度*2 (予想)
売上高	イメージング	3,455	1,661	47.5	3,500
	インフォメーション	9,008	4,582	46.8	9,800
	ドキュメント	9,354	4,810	49.6	9,700
構造改革費用前 営業利益*1	イメージング	-92	20	39.7	50
	インフォメーション	750	620	65.2	950
	ドキュメント	644	444	63.5	700
	全社費用及び セグメント間取引消去	-286	-139	-	-250
	合計	1,016	945	65.2	1,450
構造改革費用	イメージング	541	17	17.3	100
	インフォメーション	643	9	44.2	20
	ドキュメント	253	60	46.2	130
構造改革費用後 営業利益	合計	-421	859	71.6	1,200

*1コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

*2第3四半期以降の為替前提 ドル:80円 ユーロ:110円 10

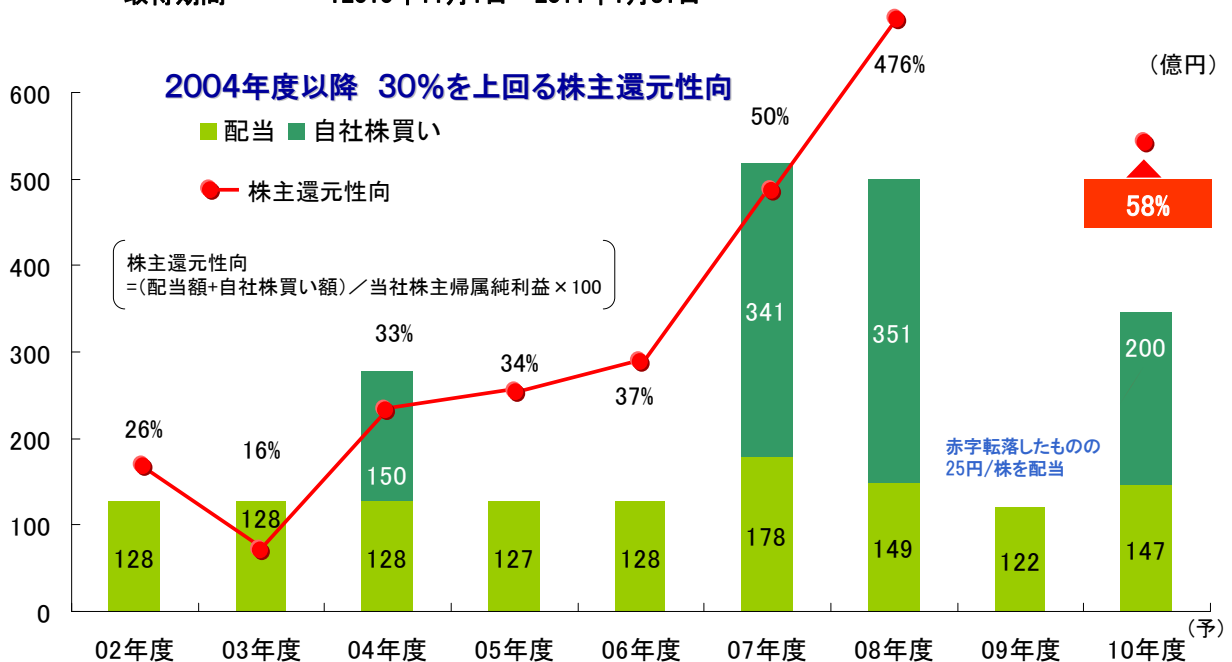
株主還元

■ 自社株買いを発表(10月29日)

- ✓ 取得株式数(上限): 750万株(対 発行済株式数 1.5%)
- ✓ 取得価額(上限): 200億円
- ✓ 取得期間: 2010年11月1日~2011年1月31日

■ 配当金

- ✓ 配当金(予定): 30円/株

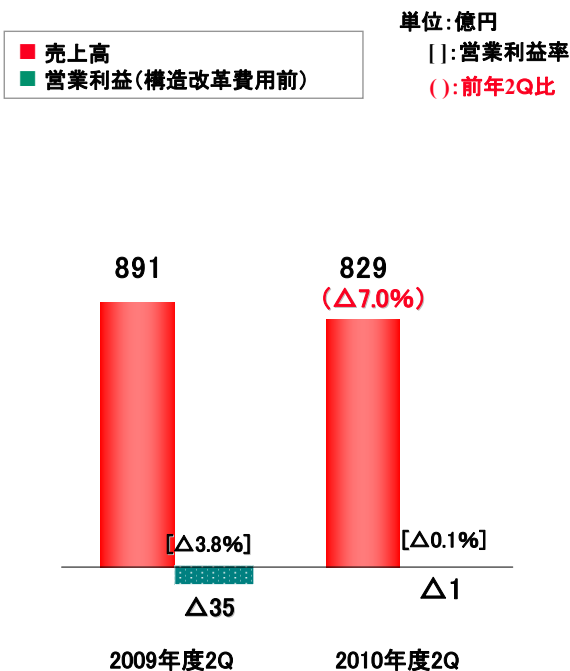


2010年度第2四半期 連結業績

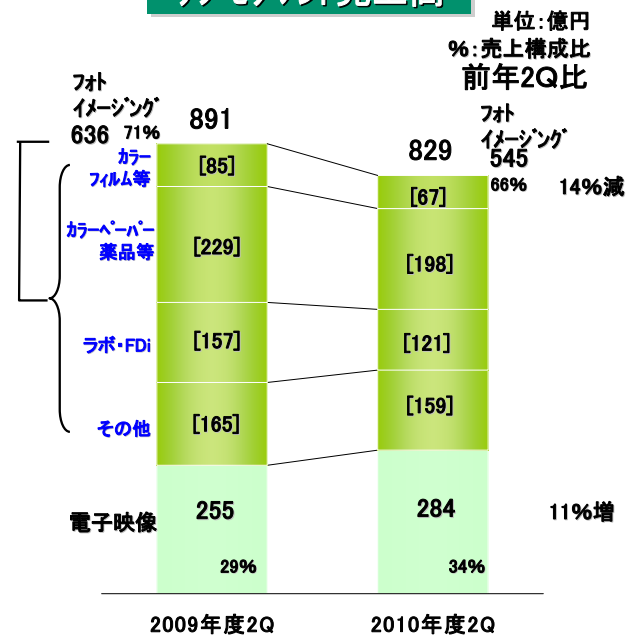
(単位:億円)	2008年度 2Q		2009年度 2Q		2010年度 2Q		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	6,847	100.0%	5,411	100.0%	5,579	100.0%	+168	3.1
構造改革費用前 営業利益	377	5.5%	190	3.5%	440	7.9%	+250	131.5
構造改革費用	24	0.3%	249	4.6%	50	0.9%	-199	-
構造改革費用後 営業利益	353	5.2%	-59	-1.1%	390	7.0%	+449	-
税金等調整前 四半期純利益	267	3.9%	-92	-1.7%	385	6.9%	+477	-
当社株主帰属 四半期純利益	134	2.0%	-47	-0.9%	225	4.0%	+272	-
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	26.66円		-9.65円		46.14円		+55.79円	
為替 : 米ドル	108円		94円		86円		- 8円	
: ユーロ	162円		133円		111円		-22円	

イメージング ソリューション

売上高*・営業利益



サブセグメント売上高

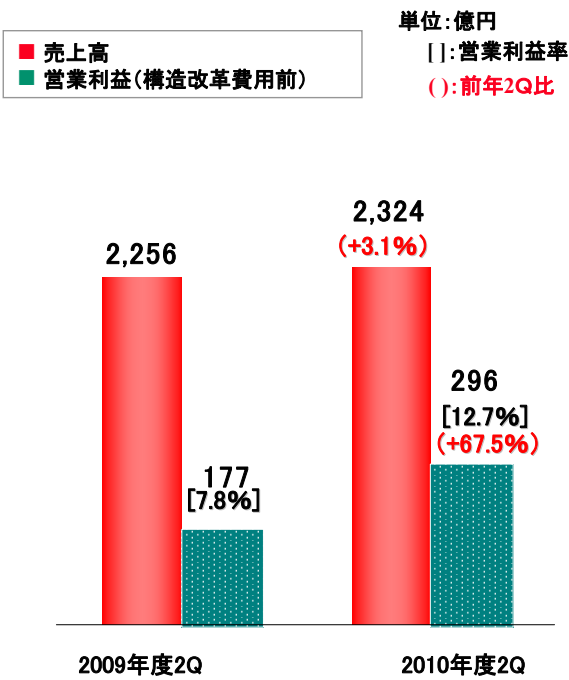


*セグメント間取引消去後

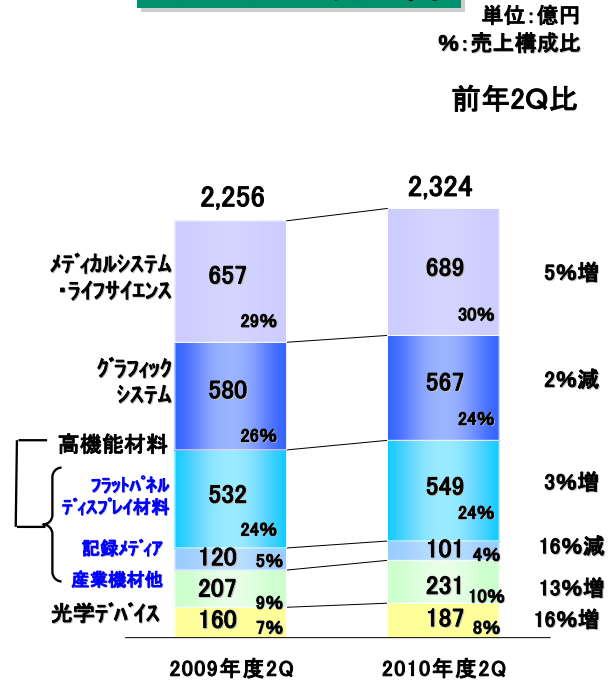
コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

■ インフォメーション ソリューション

売上高*・営業利益



サブセグメント売上高

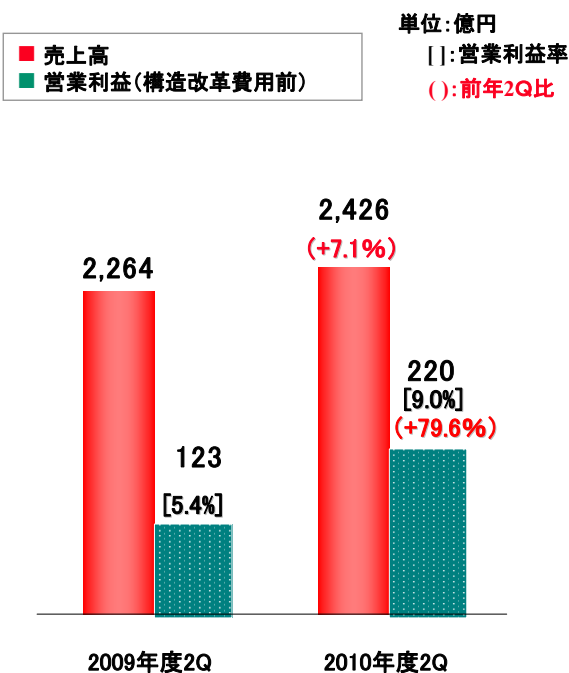


*セグメント間取引消去後

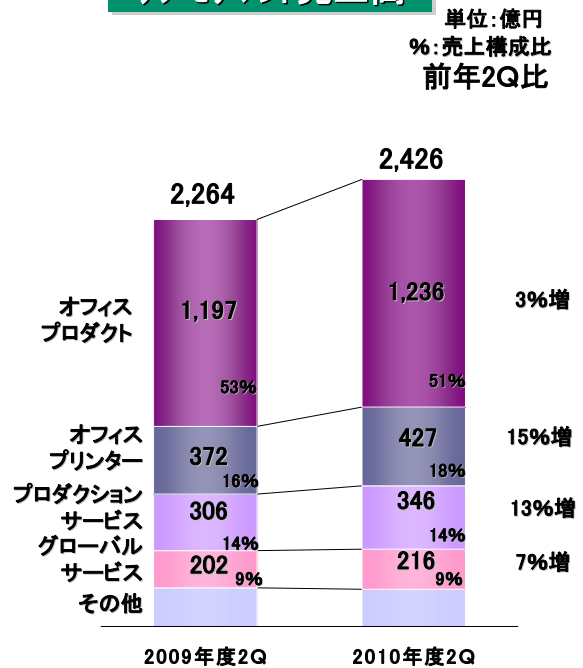
コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

■ ドキュメント ソリューション

売上高*・営業利益



サブセグメント売上高



*セグメント間取引消去後

コーポレート経費の組み替えにより営業利益は2009年度に遡りリステート

■ 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

	08年度上期		09年度上期		10年度上期		
	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)		前年比(%)
日本	44.1	5,904	48.7	5,080	46.2	5,102	0.5
米州	18.5	2,482	16.3	1,704	17.0	1,882	10.4
欧州	15.1	2,018	11.9	1,244	11.6	1,282	3.0
内、中国	8.9	1,191	10.4	1,081	11.2	1,243	15.0
アジア他	22.3	2,980	23.1	2,407	25.2	2,787	15.8
海外	55.9	7,480	51.3	5,355	53.8	5,951	11.1
合計	100.0	13,384	100.0	10,435	100.0	11,053	5.9

■ 設備投資、減価償却費

(単位:億円)

	2008年度			2009年度			2010年度		
	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度(予)
イメージング	40	72	123	25	41	91	23	40	100
インフォメーション	145	347	596	85	153	285	142	233	700
ドキュメント	97	146	404	89	212	403	66	82	290
コーポレート	1	2	1	0	0	0	9	10	10
設備投資 ※	283	567	1,124	199	406	779	240	365	1,100
イメージング	68	123	227	61	114	219	26	49	-
インフォメーション	279	550	1,118	251	485	991	172	366	-
ドキュメント	192	380	776	174	336	736	168	334	-
コーポレート	1	3	5	1	2	5	17	19	-
減価償却費	540	1,056	2,126	487	937	1,951	383	768	1,600
有形固定資産の減価償却費 ※	380	738	1,499	327	631	1,351	259	511	1,150

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

■ 研究開発費、販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2009年度			2010年度		
	2Q	上期	年度	2Q	上期	年度 (予)
イメージング	20	41	85	23	42	-
インフォメーション	200	381	772	188	346	-
ドキュメント	167	344	659	172	335	-
コーポレート	60	117	235	57	107	-
研究開発費	447	883	1,751	440	830	1,700
<売上高比>	8.3%	8.5%	8.0%	7.9%	7.5%	7.4%
販売費及び 一般管理費	1,482	2,957	5,882	1,415	2,810	5,900
<売上高比>	27.4%	28.3%	26.9%	25.4%	25.4%	25.7%

コーポレート経費の組み替えにより実績は2009年度に遡りリステート

18

参考データ

■ キャッシュフロー

(単位:億円)

	08年度上期	09年度上期	10年度上期
四半期純利益	512	-47	449
減価償却費	1,056	937	768
受取債権の増(-)減(+)	323	300	74
棚卸資産の増(-)減(+)	-103	351	-349
営業債務の増(+)-減(-)	-224	-74	-40
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-387	79	-67
その他	154	248	220
営業活動によるCF	1,331	1,794	1,055
設備投資	-829	-426	-485
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	75	-36	-129
その他	-115	-133	-194
投資活動によるCF	-869	-595	-808
フリーキャッシュフロー	462	1,199	247

§ 参考

営業活動によるCF+設備投資	502	1,368	570
----------------	-----	-------	-----

19

■ 連結貸借対照表

(単位:億円)

	08年度末	09年度末	10年度9末		08年度末	09年度末	10年度9末
現金及び現金同等物	2,701	4,062	4,184	長短社債及び借入金	3,215	2,956	3,097
受取債権	4,725	4,950	4,725	支払債務	2,215	2,616	2,426
棚卸資産	3,683	3,031	3,293	その他流動固定負債	4,814	3,944	3,784
有価証券 その他流動資産	1,918	2,062	1,976	負債計	10,244	9,516	9,307
流動資産計	13,027	14,105	14,178	株主資本計	17,563	17,461	17,321
有形固定資産	6,980	6,017	5,705	非支配持分	1,159	1,297	1,266
営業権	3,290	3,259	3,292	純資産計	18,722	18,758	18,587
投資有価証券 その他資産	5,669	4,893	4,719	負債・純資産合計	28,966	28,274	27,894
固定資産計	15,939	14,169	13,716				
資産合計	28,966	28,274	27,894				
期末日為替レート	08年度末	09年度末	10年度9末				
米ドル	98	93	84	(単位:円)			
ユーロ	130	125	114				

■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-614	抗リウマチ剤	日本						経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射*
		米国						経口/注射
		欧州						
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口

*経口剤は「ジェニナック錠」として発売

※前回(2010年7月30日)公表時からの変更点: T-3762 ニューキノロン系合成抗菌剤 10月発売のため表より削除

■ 為替、人員、株主構成

● 為替

(単位:円)

	2009年度				2010年度		
	1Q	2Q	上期	年度	1Q	2Q	上期
米ドル	97	94	96	93	92	86	89
ユーロ	133	133	133	131	117	111	114

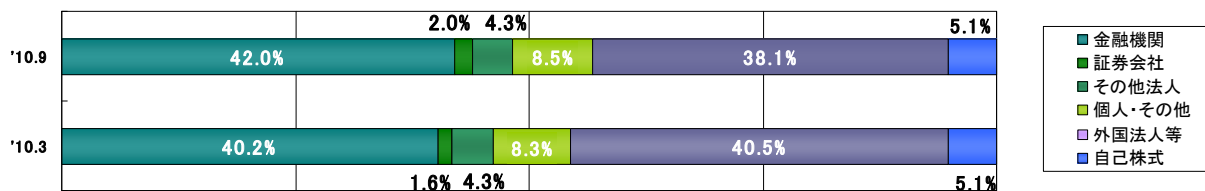
* 為替感応度(年間)
(1円の変動につき)

	営業利益
米ドル	9億円
ユーロ	8億円

● 人員

	2009.9末	2009.12末	2010.3末	2010.6末	2010.9末
連結	75,938	75,333	74,216	75,721	77,616

● 株主構成



FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、
最高品質の商品やサービスを提供する事により、
社会の文化・科学・技術・産業の発展、
健康増進、環境保持に貢献し、
人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>